

事業評価中間報告書

1 はじめに（中間報告書の趣旨）

宮内庁では、政策評価基本計画を踏まえ毎年度作成する政策評価実施計画に基づき政策評価を実施しており、平成25年度から平成26年度にかけて「インターネットによる古典籍の紹介」について事業評価を行うこととしている。

本報告書は、平成27年度に公表する総括的な評価（事後評価）に向け、平成25年度中の取組について、中間的な取りまとめを行うものである。

2 政策評価の対象とした政策

- (1) 政策名 インターネットによる古典籍の紹介
- (2) 担当部局名 書陵部
- (3) 目標 書陵部図書寮文庫において収蔵する古典籍の目録のデータベースを作成し、画像データと共に宮内庁ホームページを通じて広く国民に紹介し、利用者の利便性の向上を図る。
- (4) 評価実施期間 平成25年度、26年度（平成26年度は中間報告書を公表した上、引き続き評価を実施し、平成27年度に評価書を公表する）
（中間報告書の測定時期：平成25年11月1日～平成26年3月31日）

3 事業の内容

書陵部図書寮文庫が収蔵する、古文書、和歌集、物語、絵巻物などの皇室ゆかりの古典籍（約31万点）の目録のデータベースを構築した上で、平成25年11月1日からインターネット上で公開し、さらに、主な古典籍については画像の公開を開始した。

4 事業の必要性

書陵部図書寮文庫では、皇室や公家など古代から現代に伝えられてきた古典籍を歴史的、文化的資料として調査研究、管理、また一般の方々への閲覧、貸し出し等の利用に供している。

しかし、これら古典籍の目録に係る情報については、主要大学図書館や国立国会図書館に配布されている昭和27・28・30・43年発行の和漢図書分類目録等で確認する以外に方法はなかった。

一方、図書寮文庫は、公文書等の管理に関する法律施行令第3条第1項の規定に基づき、内閣総理大臣から歴史的な資料等を保有する施設として指定を受けており、これらの施設においては、その歴史的資料の管理に際して、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」の第5条の個人情報等利用制限箇所の記載箇所以外等は一般の利用制限を行わない

こと及び当該資料の目録を作成し、目録を一般の閲覧に供することとされているところである。

さらに、総務省では、「知のデジタルアーカイブ～社会の知識インフラの拡充に向けて～」(平成24年3月30日)において、歴史資料等公共的な知的資産の総デジタル化を進めることについての提言を行っている。

以上のことから、これら古典籍について、広く国民に紹介するため、また、上述のような制約を克服し、利用者の利便性を向上させるため、目録のデータベースを構築し、うち主な古典籍については、デジタル化した画像もあわせて、インターネット上で公開する本事業は必要性の高いものであるということが出来る。

5 現時点での効果

図書寮文庫で収蔵する古典籍の目録について、場所の制約なくインターネット上で容易に確認できるようになったこと、データベース化によりキーワード等による検索ができるようになったことなど、利用者の利便性が向上した。

また、一部ではあるが、主な古典籍については画像の公開も開始したことにより、利用者は閲覧手続きを経ずに、また場所の制約を受けずに、インターネット上で当部収蔵の古典籍を閲覧できるようになり、利用者の利便性が向上した。

具体的には次のとおり。

(1) データベースの概要

① 目録データについて

「和漢図書分類目録」上・下・索引・増加一(宮内庁書陵部編、昭和27・28・30・43年)及び「書陵部紀要」彙報に掲載したものを電子化した(約31万点(52,374件)。ただし、「和漢図書分類目録」に掲載されているもののうち以下のものは除く。)

- ・平成23年3月宮内公文書館に編入したもの
- ・昭和40年及び平成23年12月に大韓民国への図書引渡しに際し、外務省へ管理換したものの

② 検索システムについて

本システムの目録データは、掲出図書毎に、「書名」「注記」「編著者名」「刊写年次及び筆者名」「伝来系統(家別)」「員数(点数)」「函架番号」を記した。

うち、以下5項目で検索を行えるようにした。

「書名」「よみ」「編著者」「資料種別(写本or刊本)」「資料画像の有無」

ギャラリー

フリーワード検索

詳細検索

書名・よみ・編著者のいずれかに検索キーワードを入力して、「検索」ボタンをクリックしてください。

書名	<input type="text"/>	すべての語句を含む ▼
よみ	<input type="text"/>	すべての語句を含む ▼
編著者	<input type="text"/>	すべての語句を含む ▼
資料種別	<input type="radio"/> 写本 (自筆原本を含む) <input type="radio"/> 刊本 <input checked="" type="radio"/> すべて	
資料画像	<input type="checkbox"/> 画像がある資料だけを検索する	
検索条件	<input checked="" type="radio"/> すべての条件を満たす <input type="radio"/> いずれかの条件を満たす	
並び順	書名 ▼	
表示件数	50件 ▼	

キーワードを入力して「検索」ボタンをクリックしてください。入力内容は「クリア」ボタンで消すことができます。

Copyright (C)2013 Imperial Household Agency. All Rights Reserved.

③ 画像について

画像欄は、現時点では「宮内庁」「国文研」に区分されている。… 計3,912件

- ・「国文研」：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館ウェブサイト内「所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース」で公開されている画像にリンクしているもの… 3,847件
- ・「宮内庁」：過去に古典籍の写真複製利用者から寄贈された当部所蔵のマイクロフィルムをデジタル画像化したもの及び当部で新たにデジタル画像化したもの… 65件（件数はタイトル数に相当）

画像については、充実化の要望が多く寄せられているところであり、当部としても、順次増やしていく予定ではあるが、1件につき数百枚にも及ぶものが多いため、限られた件数ごとの公開とならざるを得ない。

そうした制約の中でも、より効果的に公開するため、毎月テーマを設け特集を組む中で、新たな画像を数点ずつ公開していくという形をとったところ、その都度新聞等で好意的に取り上げてもらうことができ、大きな広報効果を得ることができた。

- ・ 毎月のテーマ（11月）「図書寮文庫資料への招待」
（12月）「赤穂事件関係資料」
（1月）「大正天皇のお召し列車等の鉄道関係資料」
（2月）「祈年祭関係資料」
（3月）「東北—古写真・古文書に見る—」

(2) アクセス数について

① データベースへのアクセス数について

同事業を開始した11月からの宮内庁ホームページにおける図書寮文庫のデータベースへのアクセス数を調べてみると次のとおりである。

	総アクセス数
平成25年11月	234,196
平成25年12月	153,037
平成26年1月	90,930
平成26年2月	76,910
平成26年3月	63,011
計	618,084

古典籍を実際に閲覧するためには、申請が必要であり、データベースができる前までの閲覧は年間400件程度である。しかし、今データベースには、ホームページでの平成25年11月1日からの公開後から平成26年3月末日までの6か月間で約62万件の利用があった。

両数字の単純な比較はできないところではあるが、同事業により、当部収蔵の古典籍について、広く国民に紹介できているものと推測できる。

② 図書寮文庫ページへのアクセス数の推移について

同事業を開始した11月の3か月前からの宮内庁ホームページにおける図書寮文庫の紹介ページへのアクセス件数を調べてみると次のとおりである。

年月	アクセス数	年月	アクセス数
平成25年8月	720	平成25年12月	4,004
平成25年9月	721	平成26年1月	1,859
平成25年10月	5,649	平成26年2月	1,558
平成25年11月	9,059	平成26年3月	1,233

同事業開始の告知を行った10月からのアクセス件数が飛躍的に増えていることから、同事業により、当部収蔵の古典籍について、広く国民に関心を持ってもらうことができているものと推測できる。

(3) 閲覧者に対するアンケートについて

平成25年11月5日から12月末までの間、閲覧のため図書寮文庫に来所された方に対し、同事業に関するアンケート調査を実施した。ただし、期間中複数回にわたり利用される方が多かったため、アンケート総数は43件となっている。

アンケート結果は、別紙のとおりであるが、その概要を記載すると、本事業が必要だ

と思うという答えは、43件中43件（100%）であり、利用者の利便性の向上については、84%の方から向上したという回答を得た。そのほか、今後に対する要望として、「公開画像の拡充について…9件」、「目録情報・検索項目の拡充について…7件」などのご意見をいただいたところであり、同事業を進めていく上での参考とさせていただく予定である。

6 所用経費

平成25年度 構築に要した費用 1,316,000円

平成26年度 運用に必要な費用 717,000円

【アンケート結果】

1. 宮内庁書陵部図書寮文庫での閲覧の頻度について、お尋ねいたします。
 - ①初めて 13 (30%)
 - ②今回で2回目以上 30 (70%)

2. 本日閲覧する文書は、どのような手段で特定されましたか？
 - ①書陵部の刊行物 24 (47%)
 - ②目録データベース 21 (41%)
 - ③①以外の出版物 3 (6%)
 - ④電話等問い合わせ 0
 - ⑤その他 3 (6%) 閲覧室内設置閲覧カード(1)/知人の情報(2)

3. 当文庫所蔵の古典籍の目録データベースが、宮内庁ホームページ上で公開されていることを聞いて
 - ①必要だと思う 43 (100%)
 - ②必要だと思わない 0
 - ③どちらでもない 0

4. 当文庫所蔵の古典籍の目録データベースがホームページ上に公開されていることを何でお知りになりましたか？
 - ①新聞, テレビ 7 (15%)
 - ②雑誌 0
 - ③宮内庁ホームページ 22 (46%)
 - ④広報チラシ 8 (17%)
 - ⑤その他 11 (23%) 職員より(2)/研究者仲間(3)/他館にて(1)

5. 当文庫所蔵の古典籍の目録データベースを使用してみて
 - ①使いやすい 25 (58%)
 - ②使いにくい 5 (12%)
 - ③どちらでもない 3 (7%)
 - 無回答 10 (23%)

(使いにくいを選ばれた方は、その理由をお書きください。)

番号順や家別でのソートができない。/目的の本が捜せなかった。/書誌の情報量が少ない。

6. 当文庫所蔵の古典籍の目録データベースが宮内庁ホームページ上で公開され、利用者の利便性が向上したと思いませんか？
 - ①向上した 36 (84%)
 - ②変わらない 2 (5%)
 - ③どちらでもない 0
 - 無回答 5 (12%)

7. その他、当文庫所蔵古典籍の目録データベースと一部画像の公開に関連して、ご意見・ご感想及び今後に対するご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

- (A) 同事業への感想（満足）… 3件
- (B) 公開画像の拡充について… 9件
- (C) 目録情報・検索項目の拡充について… 7件
- (D) その他… 3件

【寄せられたご意見等は以下のとおり】

- ・インターネットで資料を調べることができて、利用しやすくなりました。(A)
- ・今までは閲覧に際して、和漢図書分類目録を利用していましたが、近隣の図書館に配架がなく不便を感じておりましたので、大変有難く利用いたしております。今後さらに画像閲覧可能な資料が増えますと遠方利用の物としては嬉しく思います。(A,B)
- ・資料（史料）の保存等や調査の面も考えると画像公開はありがたいと思います。追加されることを願っています。(A,B)
- ・今後大いに画像データの公開を進めていただきたい。(B)
- ・画像の公開と聞いてはいましたが大半は国文研のHPで公開されていた物だったので残念でした。今後高精細で使い勝手の良い画像が公開されることを望みます。(B)
- ・できるだけ多くの画像、PDF等を公開してほしい。(B)
- ・「ないものねだり」になってしまうかもしれませんが、翻刻が無い史料について画像の公開を積極的におこなっていただければ幸いです。(B)
- ・資料の画像を随時アップして行ってほしい。最終的には全所蔵史料の画像公開を目指して欲しい。(B)
- ・目録情報の拡充と画像公開を広げて欲しい。(B,C)
- ・データの訂正、拡充、画像リンクの拡充を要望します。(B,C)
- ・東山御文庫マイクロ資料の目録データベースもあるとよい。(C)
- ・早くすべての史料のデータベース化をしていただけると助かります。(C)
- ・簡単な書誌情報がわかるとなお良いと思う。(C)
- ・書名だけでなくその他の項目でも検索できるようになると便利で良いです。(C)
- ・また函架番号の変更や目録刊行以降の情報も記してもらえるとありがたい。(C)
- ・良い本をたくさん所蔵されているようなので、多くの研究者が閲覧するようになると良いと思う。もったいないから。(D)
- ・今回閲覧させていただき有り難うございました。今後もあらゆる資料の公開を宜しく願います。(D)
- ・ぜひもっと公開してください。(D)